

～変革と成長～
**2021年3月期第2四半期
決算説明会資料**



2020年10月30日
三井物産株式会社

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手している情報に基づくもので、既知及び未知のリスクや不確実性及びその他の要素を内包しており、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。こうしたリスク、不確実性及びその他の要素には、当社の最新の有価証券報告書、四半期報告書等の記載も含まれ、当社は、将来に関する記述のアップデートや修正を公表する義務を一切負うものではありません。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なって下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

目次

1 中期経営計画2023の進捗状況

2 補足資料

3 セグメント別データ

1

中期経営計画2023の進捗状況

経営成績サマリー

- 新型コロナウイルスの経済活動に対する影響長期化、および原油・ガス・石炭価格下落等を主因に前年同期比減益
- 価格堅調な鉄鉱石事業やFVTPL益、トレーディング収益等が貢献、計画対比では着実に進捗

(単位：億円)

	2020年3月期 上半期実績	2021年3月期 上半期実績	増減	2021年3月期 事業計画	進捗率
基礎営業キャッシュ・フロー ^{*1}	3,170	2,741	▲429	4,000	69%
当期/上半期利益 ^{*2}	2,342	1,100	▲1,242	1,800	61%

*1. 営業活動に係るキャッシュ・フロー (21/3期上半期: 3,808億円) - 運転資本の増減に係るキャッシュ・フロー (21/3期上半期: 759億円) - リース負債の返済による支出額 (21/3期上半期: 308億円)

*2. 本資料では当連結会計年度の「当期利益(親会社の所有者に帰属)」を「当期利益」と表記

通期業績予想を以下の通り修正

- 基礎営業キャッシュ・フロー 4,800億円 (期首計画対比 +800億円)
- 当期利益 1,800億円 (期首計画を据え置き)

予想年間配当金は1株あたり80円を据え置き、中間配当金は1株あたり40円

Corporate
Strategy

基盤事業の収益力強化

基盤事業

【金属資源・エネルギー】モアティーズ炭鉱事業での追加減損があったものの、鉄鉱石価格堅調、Vale配当等で着実な進捗

【機械・インフラ】新型コロナウイルスの影響でモビリティを中心に複数の事業会社が減益となったものの、資産リサイクルによる下支えあり

【化学品】基礎化学品トレーディング及び農業資材事業が堅調に推移し、概ね計画通り進捗

基礎営業キャッシュ・フロー

	上半期 実績	事業計画 20年5月公表	進捗率
金属資源・エネルギー	1,574	2,500	63%
機械・インフラ	263	600	44%
化学品	227	450	50%
基盤事業 合計	2,064	3,550	58%
全社 合計	2,741	4,000	69%

当期/上半期利益（単位：億円）

上半期 実績	事業計画 20年5月公表	進捗率
676	1,200	56%
234	350	67%
107	200	54%
1,017	1,750	58%
1,100	1,800	61%

Corporate
Strategy

財務戦略・ポートフォリオ経営の進化

キャッシュ・フロー・アロケーションおよび資産リサイクル・投融資実績

(単位：億円)

		21年3月期 上半期実績	主な案件
キャッシュ・ イン	基礎営業キャッシュ・フロー	2,750	－
	資産リサイクル*1	550	【機械・インフラ】北米発電事業の売却
キャッシュ・ アウト	投融資*1	▲2,650	【コーポレート/次世代・機能推進】大手町一丁目2番地区の複合開発事業 【エネルギー】開発中LNG案件（Area1, Arctic LNG2）、石油・ガス生産事業 【金属資源】豪州鉄鉱石事業
	株主還元*2	▲1,100	－

*1. 定期預金の増減は除く

*2. 自己株式の取得400億円を含む、この他に従業員向け株式報酬の為の自社株購入69億円あり

Corporate
Strategy

財務戦略・ポートフォリオ経営の進化

バランスシート

(単位：兆円)

20/3

流動資産 4.1	その他負債 2.8
	長短債務*1 4.9 (3.5)
非流動資産 7.7	株主資本*2 合計 3.8
0.3	

非支配持分

総資産	11.8兆円
株主資本	3.8兆円
Net DER	0.91倍

20/9

流動資産 3.8	その他負債 2.4
	長短債務*1 4.9 (3.4)
非流動資産 7.7	株主資本*2 合計 3.9
0.3	

非支配持分

総資産	11.5兆円
株主資本	3.9兆円
Net DER	0.87倍

主な残高・増減

有利子負債*3 4.5兆円 (20/3末比：▲160億円)
 ネット有利子負債*4 3.4兆円 (20/3末比：▲702億円)

株主資本*2 3.9兆円 (20/3末比：+1,164億円)

- ・ 上半期利益： +1,100億円
- ・ 外貨換算調整勘定： +456億円
- ・ FVTOCIの金融資産： +1,012億円
- ・ 配当金の支払： ▲683億円
- ・ 自己株式の取得*5： ▲460億円
- ・ その他： ▲261億円

*1. 長短債務のカッコ内数字は、ネット有利子負債

*2. 本資料では「親会社の所有者に帰属する持分」を株主資本と表記

*3. 有利子負債は長短債務からリース負債を除外して計算

*4. ネット有利子負債は*3.有利子負債から現金・現金同等物並びに定期預金を除外して計算

*5. 従業員向け株式報酬の為の自社株購入69億円を含む

新型コロナウイルスによる影響

- モビリティ(含む関連素材)、生活産業等で想定以上の下方圧力と影響の長期化が懸念、引き続きダメージコントロールの徹底と、コロナ後の事業環境と社会構造の変化を踏まえた施策実行が急務

セグメント	期初に想定された影響	2Q決算と当期の見通し	上半期	下半期 予想
金属資源	鉱山事業の稼働率低下、物流減	- 鉄鉱石価格高止まり、石炭価格下落・低迷 - 鉱山事業は感染予防対策を徹底、概ね通常操業継続 - Moatize炭鉱は選炭機の大規模改修が遅延		
エネルギー	原油ガス価格の低迷、上流事業の稼働率低下懸念、輸送燃料や産業用燃料の需要減	- 原油価格については当初想定よりも高い価格帯で推移 - 上流事業では、概ね通常稼働を継続		
機械・インフラ	自動車(製造・販売・金融)・鉄道・航空機等の需要減、稼働率低下	- 左記以外でも物流関連インフラや建機・産機など複数事業領域で影響 - 東アジア・豪州・北米は回復が顕著であるものの、中南米や東南アジア、インドなど先行きは不透明で長期化懸念		
化学品	市況下落、自動車向け素材等の需要減、工場等の稼働率低下	- 商品市況の下落、自動車向け素材を中心に需要減や工場の稼働率低下等の影響 - 市場変化にロジスティクス等のトレーディング機能を使い迅速に対応 - 当初の想定よりも市況低迷等の影響の長期化は継続的な懸念材料		
鉄鋼製品	鋼材の需要減、工場等の稼働率低下	- 鋼材の需要減、工場の稼働率低下等の影響 - 北米、欧州、アジア市場は回復基調も南米は引き続き先行き不透明		
生活産業	軽症患者・メディカルツーリズム等の需要減による病院事業の稼働率低下、外出規制等によるファッション関連や外食産業向け業務用食材の需要減	- 病院事業では左記影響有るも、PCR検査受託・コスト削減等で影響が一部緩和。回復基調にあるが、下半期にも一定程度影響は残る見通し。 - 百貨店や路面等のリアル店舗閉鎖によりファッション関連需要減 - 業務用食材の需要減の一方、巣籠り需要の獲得も一部貢献		
次世代・機能推進	稼働率低下、電子材料関連の需要減、与信リスク増大	- 電材関連で需要減、デジタル・セキュリティの需要堅調、巣籠り需要も一部事業に追い風 - 投資先評価減や売却遅延、不動産の稼働率低下、貸倒引当金増		
全般	金融市場のアクティビティ低下でIPO・資産売却の遅延、経費の節減	- 一部IPOや資産売却は遅延する可能性あり - 旅費や案件形成費など当社全般で経費削減あり - 国内では、適切な対策を講じる前提の下、徐々に対面での面談・出張等営業活動を再開。		



2021年3月期アクションプランの進捗

期初に策定した 2021年3月期 アクションプラン

- 社員とステークホルダーの安全確保
- 既存事業の維持・継続、ダメージの最小化
- 徹底的なコスト削減、リカバリー・防衛策実施
- 顧客・パートナーとのネットワーク維持、デジタルを駆使した新たな事業創出への挑戦
- マテリアリティに沿った事業推進

当上半期に実行したこと

コロナ禍での安全確保 及び ダメージの最小化

- 感染防止を徹底しつつ事業活動を徐々に再開する為のガイドライン策定・徹底
- 感染拡大期には各事業での資金流動性確保を徹底、足下は与信管理を徹底
- デジタル化の取り組みを通じた業務効率化・コスト削減

着実な ビジネスプランの遂行

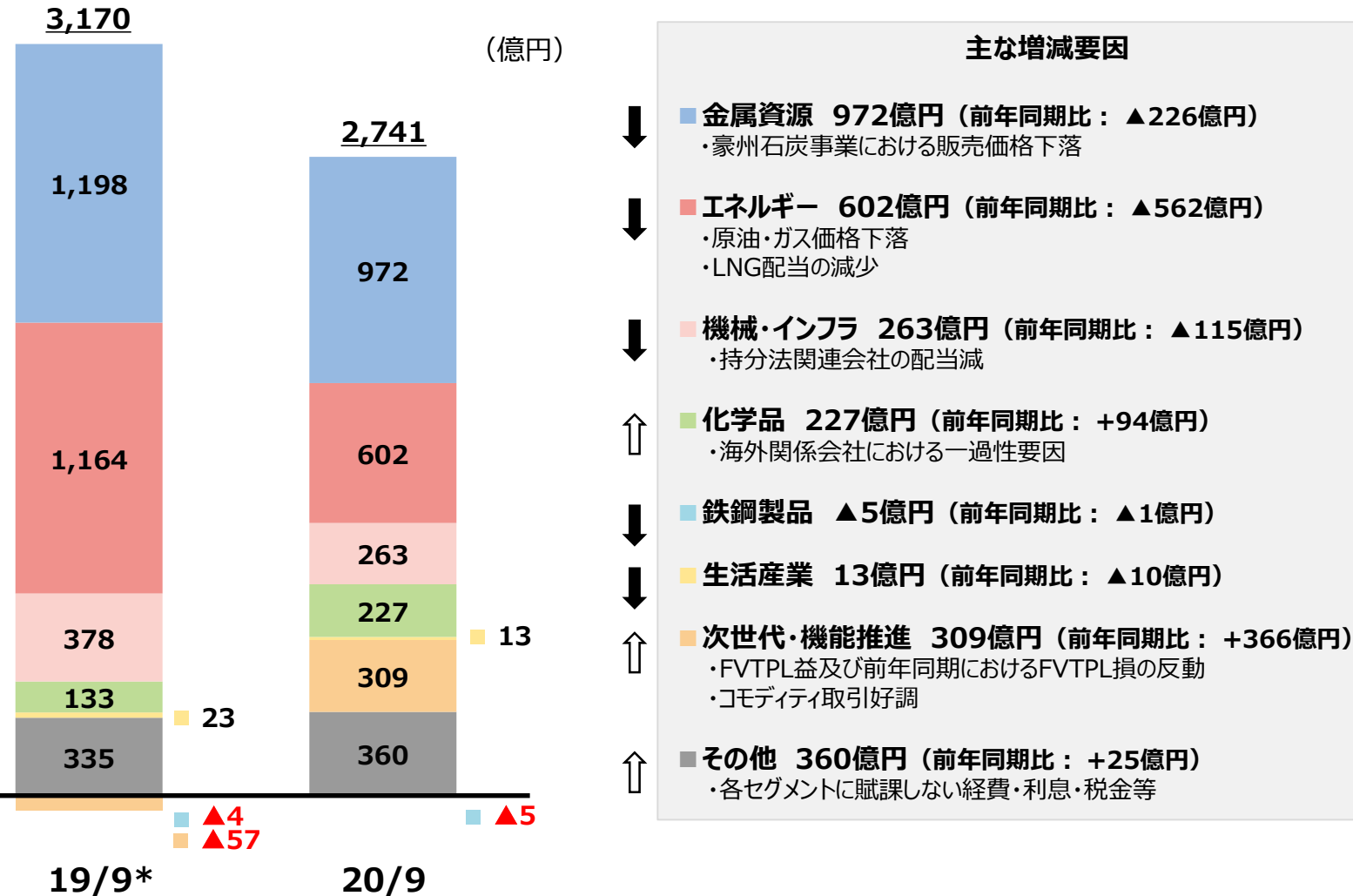
- プロジェクトの着実な推進
Cameron・福島天然ガス発電所のフル操業開始、
モザンビークArea1プロジェクトファイナンス組成
- 物流商内の確実な履行、巣籠り需要取り込み

事業強化と Transformの加速

- 既存事業群の再編、再構築
国内製糖業界再編進捗、
中間流通機能子会社の集約等

基礎営業キャッシュ・フロー セグメント別前年同期比 増減要因

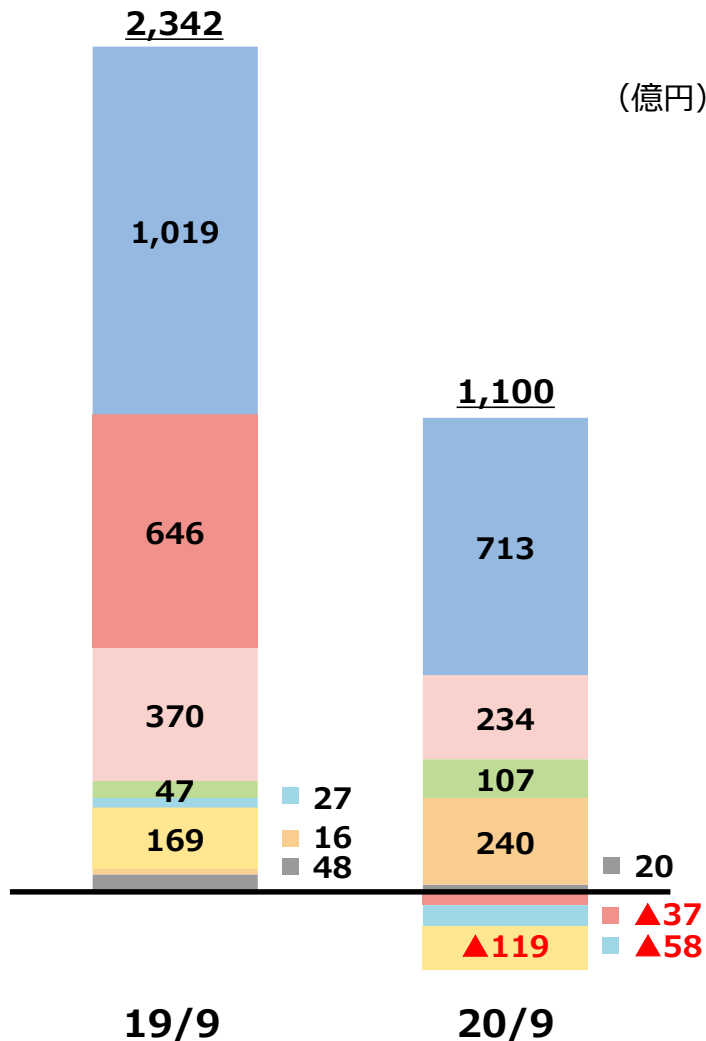
■ 基礎営業キャッシュ・フロー 2,741億円、前年同期比 ▲429億円



*リース負債の返済による支出額を減算した金額に修正済み

上半期利益 セグメント別前年同期比 増減要因

■ 上半期利益 1,100億円、前年同期比 ▲1,242億円

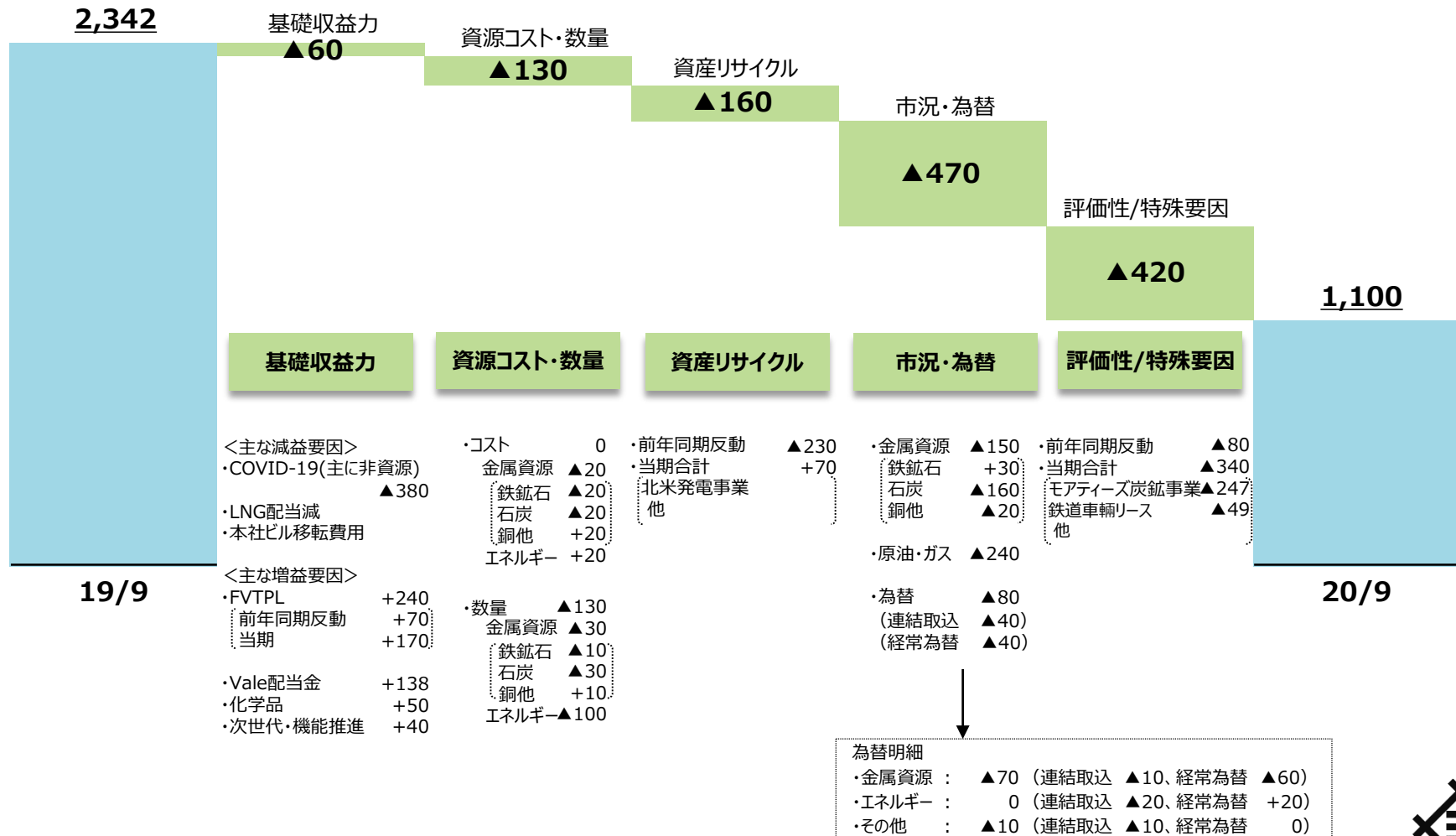


主な増減要因

- 金属資源 713億円 (前年同期比 : ▲306億円)**
 - ・モアティーズ炭鉱事業における減損
 - ・豪州石炭事業における販売価格下落
- エネルギー ▲37億円 (前年同期比 : ▲683億円)**
 - ・原油・ガス価格下落
 - ・LNG配当の減少
 - ・前年同期におけるモザンビークArea1の繰延税金資産計上の反動
- 機械・インフラ 234億円 (前年同期比 : ▲136億円)**
 - ・モアティーズ炭鉱事業における減損
 - ・鉄道車輛リース事業会社における減損
- 化学品 107億円 (前年同期比 : +60億円)**
 - ・海外関係会社における一過性要因
 - ・基礎化学品トレーディング・農業資材事業堅調
- 鉄鋼製品 ▲58億円 (前年同期比 : ▲85億円)**
 - ・自動車向け鋼材需要減・操業率低下
- 生活産業 ▲119億円 (前年同期比 : ▲288億円)**
 - ・前年同期におけるリクルート株売却に伴う法人所得税負担減の反動
 - ・食品・ファッション関連関係会社における外食・購買需要減
- 次世代・機能推進 240億円 (前年同期比 : +224億円)**
 - ・FVTPL益及び前年同期におけるFVTPL損の反動
 - ・コモディティ取引好調
- その他 20億円 (前年同期比 : ▲28億円)**

上半期利益 要素別増減要因

(単位：億円)

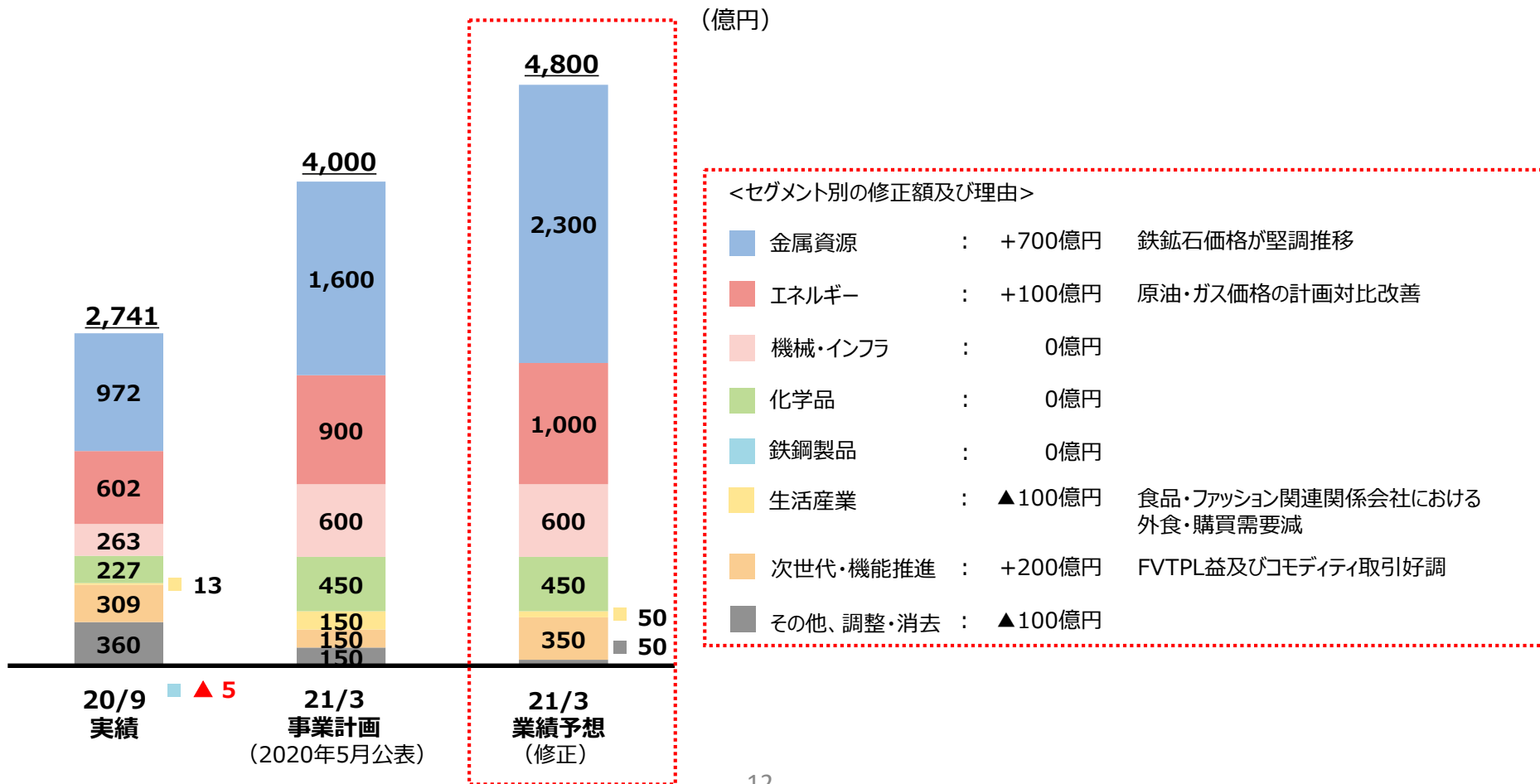


2021年3月期 業績予想（修正）

基礎営業キャッシュ・フロー

4,800億円に上方修正（期首計画比 +800億円）

■ 鉄鉱石価格堅調及びFVTPL益等が寄与して、基礎営業キャッシュ・フローは上方修正

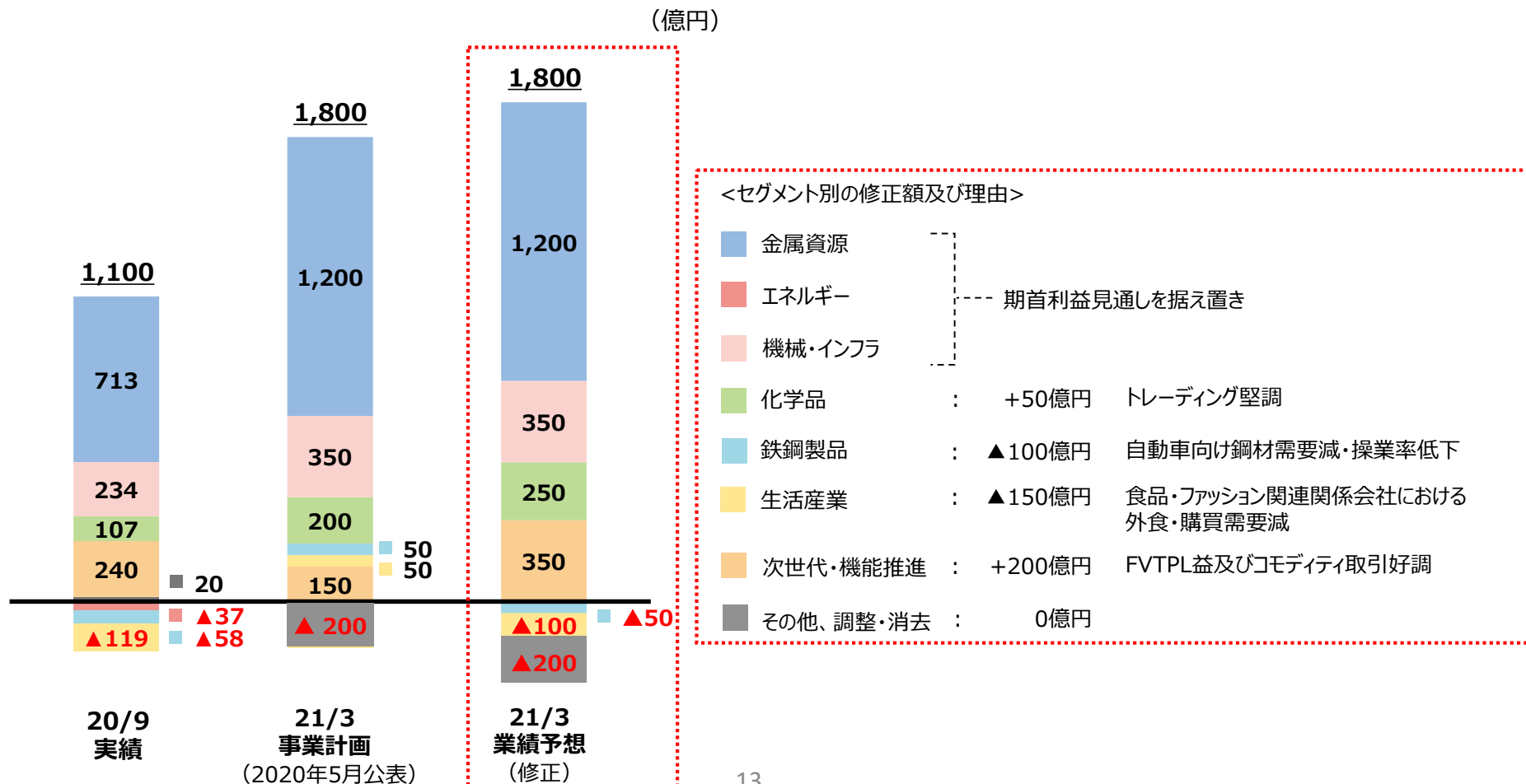


2021年3月期 業績予想（修正）

当期利益

1,800億円に据え置き

- 鉄鉱石事業やFVTPL改善、トレーディング事業堅調等が貢献し、期初想定より下振れ縮小
- 一方で、事業環境変化が激しい金属資源・エネルギー、機械・インフラを中心に既存事業の再評価とポートフォリオ・レビューを今後も集中的に実施。対応に伴う一過性損益の可能性も排除せず。



キャッシュ・フロー・アロケーション/株主還元方針

キャッシュ・フロー・アロケーション

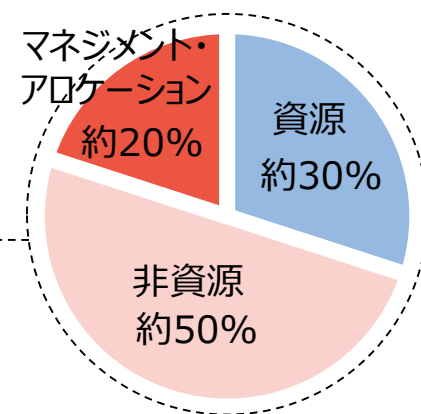
- 5月公表のキャッシュ・フロー・アロケーションに変更なし
- 引き続き投資機会と事業環境を総合的に勘案、投資規律を徹底しつつ、成長投資と追加還元へ柔軟で戦略的な資金配分を実行する

株主還元方針

- 予想年間配当金は1株あたり80円を据え置き、中間配当金は1株あたり40円

中期経営計画2023 キャッシュ・フロー・アロケーション 3年間累計
(21年3月期～23年3月期)

キャッシュ・イン	基礎営業CF	15,000億円
	資産リサイクル	9,000億円
キャッシュ・アウト	投資決定済み・既存事業維持	15,000～17,000億円
	成長投資 (Strategic Focus・新規)	3,000～5,000億円
	自社株買い+追加配当	マネジメント・アロケーション
	配当（下限）	4,000億円



2 補 足 資 料

前提条件および感応度

価格変動の21/3期当期利益 への影響額（2020年5月公表）				21/3事業計画 （2020年5月公表）	21/3上半期 （実績）	21/3下半期 （前提）	21/3通期予想 （上・下平均値）
市況 商品	原油／JCC		－	33	36	42	39
	連結油価（*1）		32 億円（US\$1/バレル）	39	49	40	44
	米国ガス(*2)		9 億円（US\$0.1/mmBtu）	2.15(*3)	1.81(*4)	2.31(*3)	2.06
	鉄鉱石(*5)		22 億円（US\$1/トン）	(*6)	105(*7)	(*6)	(*6)
	石炭	原料炭	4 億円（US\$1/トン）	(*6)	123(*8)	(*6)	(*6)
		一般炭	1 億円（US\$1/トン）	(*6)	69(*8)	(*6)	(*6)
銅(*9)		7 億円（US\$100/トン）	5,600	5,490(*10)	6,440	5,965	
為替 (*11)	米ドル		13 億円（¥1/米ドル）	108.00	106.32	106.00	106.16
	豪ドル		16 億円（¥1/豪ドル）	75.00	73.91	76.00	74.95
	伯リアル		3 億円（¥1/伯リアル）	26.00	19.74	19.00	19.37

(*1) 原油価格は0～6ヶ月遅れで当社連結業績に反映されるため、この期ずれを考慮した連結業績に反映される原油価格を連結油価として推計している。

21/3期には約30%が4～6ヵ月遅れで、約50%が1～3ヵ月遅れで、約20%が遅れ無しで反映されると想定される。上記感応度は、連結油価に対する年間インパクトで、原油価格に連動する部分を示す。

(*2) 当社が米国で取り扱う天然ガスはその多くがHenry Hub (HH) に連動しない為、上記感応度はHH価格の変動に対するものではなく、加重平均ガス販売価格に対するインパクト。

(*3) HH連動の販売価格は、21/3期事業計画欄にはHH価格US\$2.15/mmBtu、21/3期下半期前提欄にはHH価格US\$2.31/mmBtuを前提として使用している。

(*4) 米国ガスの21/3期上半期実績欄には、2020年1月～6月のNYMEXにて取引されるHenry Hub Natural Gas Futuresの直近限月終値のdaily平均値を記載。

(*5) Valeからの受取配当金に対する影響は含まない。

(*6) 鉄鉱石・石炭の前提価格は非開示。

(*7) 鉄鉱石の21/3期上半期実績欄には、2020年4月～9月の複数業界紙によるスポット価格指標Fe 62% CFR North Chinaのdaily平均値（参考値）を記載。

(*8) 石炭の21/3期上半期実績欄には、対日代表銘柄石炭価格（US\$/MT）の四半期価格の平均値を記載。

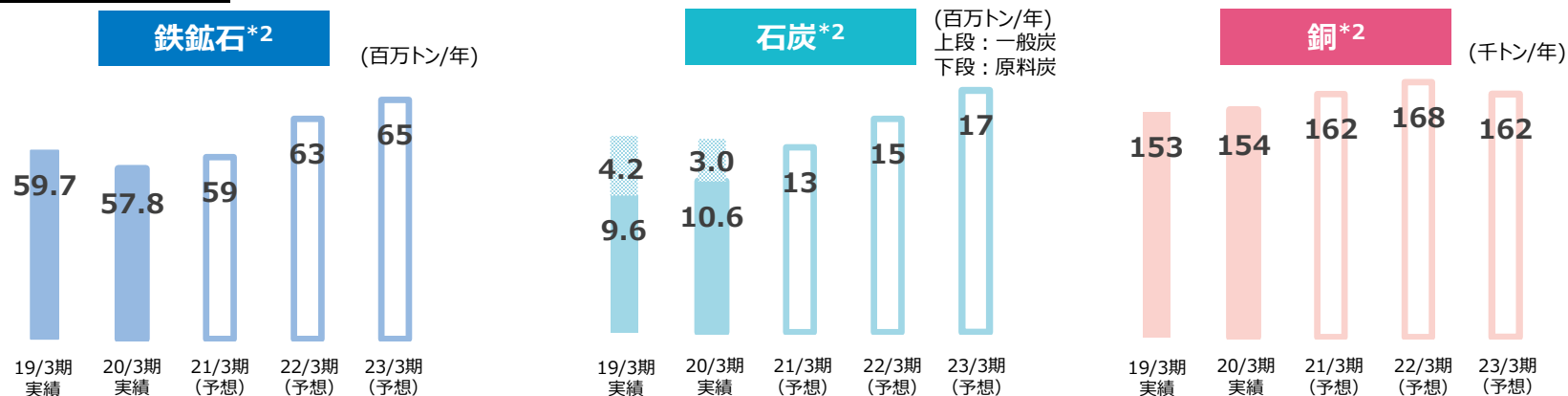
(*9) 銅価格は3ヶ月遅れで当社連結業績に反映される為、上記感応度は2020年3月～12月のLME cash settlement price平均価格がUS\$100/トン変動した場合に対するインパクト。

(*10) 銅の21/3期上半期実績欄には、2020年1月～6月のLME cash settlement priceのmonthly averageの平均値を記載。

(*11) 上記感応度は、各国所在の関係会社が報告する機能通貨建て当期利益に対するインパクト。円安は機能通貨建て当期利益の円貨換算を通じて増益要因となる。金属資源・エネルギー生産事業における販売契約上の通貨である米ドルと機能通貨の豪ドル・伯リアルの為替変動、及び為替ヘッジによる影響を含まない。

金属資源：持分権益生産量および生産量実績

持分権益生産量*1 (2020年5月公表)



*1. 新型コロナウイルス影響を一部加味していない

*2. Vale生産量は4月17日時点の公表データ前提

生産量実績

	2020年3月期					2021年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	累計
鉄鉱石 (百万トン)	14.1	14.4	15.1	14.2	57.8	14.0	14.1	28.1
豪州鉄鉱石	10.0	10.8	10.3	9.8	40.9	10.7	10.3	21.0
Vale*1	4.1	3.6	4.8	4.4	16.9	3.3	3.8	7.1
石炭*2 (百万トン)	3.3	3.4	3.6	3.3	13.6	2.9	3.1	6.0
MCH	2.1	2.1	2.1	2.0	8.3	1.8	1.9	3.6
BMC*1	0.5	0.6	0.5	0.4	2.0	0.5	0.5	1.0
豪州原料炭	2.4	2.3	2.3	2.1	9.1	1.9	1.9	3.7
豪州一般炭	0.2	0.4	0.3	0.3	1.2	0.4	0.5	0.9
Moatize*1	0.3	0.3	0.3	0.3	1.2	0.3	0.2	0.5
銅*1, 2 (千トン)	36.3	38.0	40.0*3	39.3	153.6	37.7	40.4	78.1

*1. Vale, BMC, Moatize及び銅は1Q:1-3月、2Q: 4-6月、3Q: 7-9月、4Q: 10-12月の実績

*2. Vale生産分(2018/3 1Q以前:5.0%, 2Q以降:5.5%, 2019/3 4Q以降:5.6%)等を含む

*3. 2020年5月修正 (3Q:39.6→40.0)

金属資源：主な事業一覧

商品	案件名 ^{*1}	所在国	2020年3月期 持分生産量	主なパートナー	当社出資比率 ^{*4}	当社収益認識
鉄鉱石	Robe River	豪州	21.5百万トン	Rio Tinto	33.00%	連結(一部持分法)
鉄鉱石	Mt. Newman / Yandi / Goldsworthy / Jimblebar	豪州	19.4百万トン	BHP	7.00%	連結(一部配当)
鉄鉱石	Vale	伯国	16.9百万トン ^{*2}	Vale	5.58%	配当
石炭	South Walker Creek / Poitrel	豪州	2.0百万トン ^{*2}	BHP	20.00%	持分法
石炭	Kestrel	豪州	1.4百万トン ^{*2}	EMR / Adaro	20.00%	連結
石炭	Moranbah North / Grosvenor ^{*5} / Capcoal / Dawson	豪州	6.9百万トン	Anglo American	Various	連結
石炭	Moatize / Nacala	モザンビーク	1.2百万トン ^{*2}	Vale	Moatize : 約15% Nacala : 約50%	Moatize : 配当 Nacala : 持分法
銅	Collahuasi	チリ	62.4千トン ^{*2}	Anglo American Glencore	11.03%	持分法
銅	Anglo American Sur	チリ	37.0千トン ^{*2}	Anglo American Codelco	9.50%	持分法
銅	Caserones	チリ	33.0千トン ^{*2}	JX金属 三井金属	22.63%	その他
ニッケル	Coral Bay	フィリピン	3.5千トン ^{*3}	住友金属鉱山	18.00%	持分法
ニッケル	Taganito	フィリピン	4.7千トン ^{*3}	住友金属鉱山	15.00%	配当

*1. JV名、企業名、プロジェクト名を含む

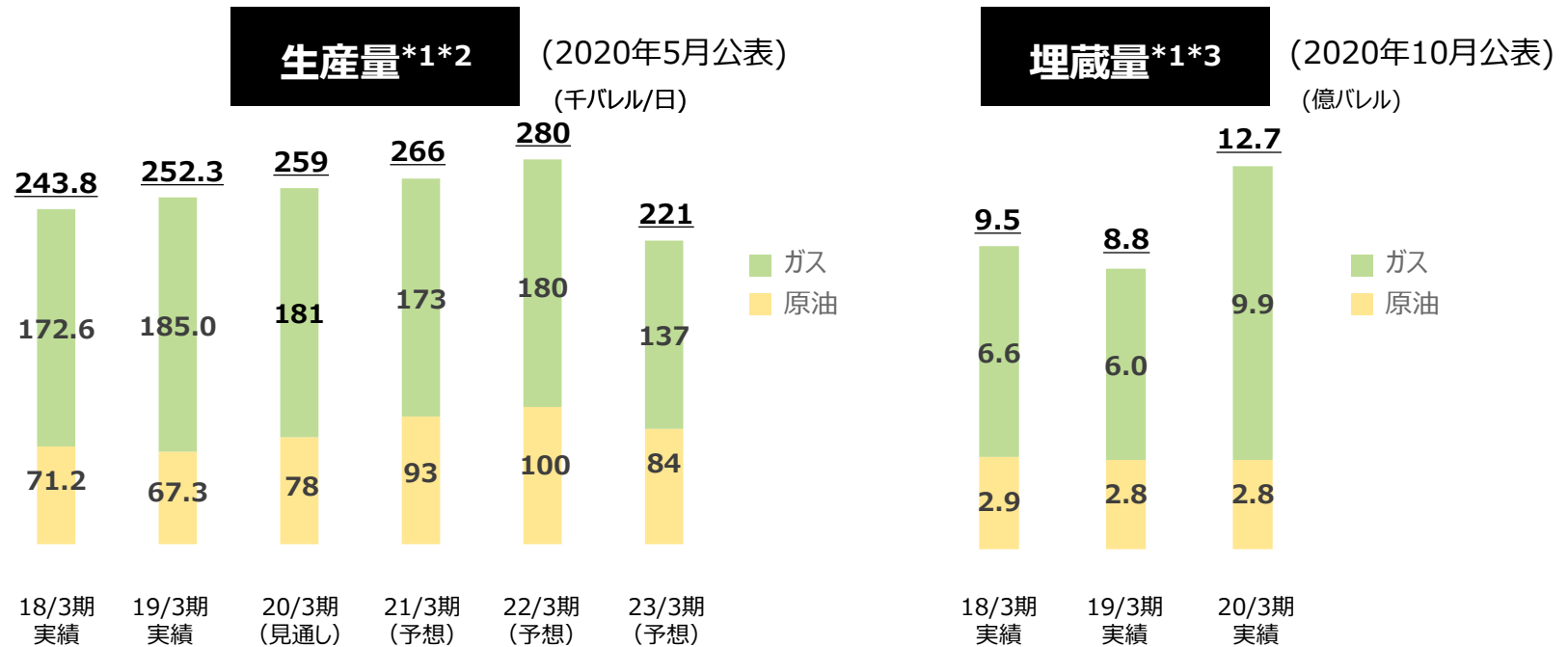
*2. 2019年1-12月の実績

*3. 生産能力ベース

*4. 2020年3月末時点

*5. 21/3月期取得予定の為、数量に含まず

エネルギー：原油・ガス持分権益生産量および埋蔵量



*1. 石油換算
当社連結子会社・関係会社・非連結先の当社権益保有見合い

*2. 一部プロジェクトでは当社持分販売量を適用
(予想)に関しては、新型コロナウイルス影響を一部加味していない前提

*3. 当社独自の基準による

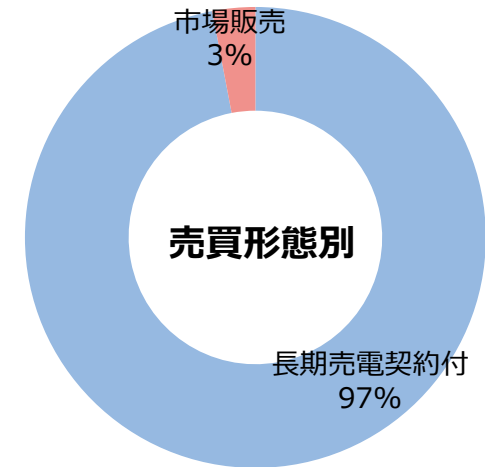
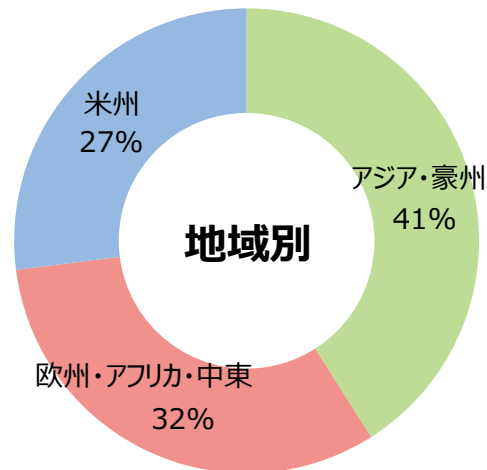
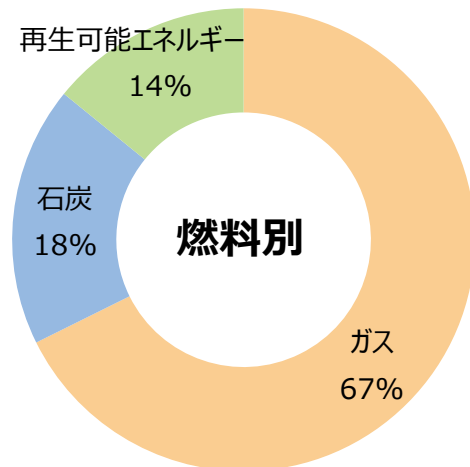
エネルギー：主な事業一覧

商品	プロジェクト名	株主構成/権益保有者 *: オペレーター、青：当社参画Entity	LNG:生産能力 E&P:生産実績(20/3期実績)	決算期	当社 収益認識
LNG	アブダビ	*ADNOC(70%), 三井物産(15%), BP(10%), Total(5%)	LNG:580万トン/年	NA	受取配当金
LNG	カタールガス1	*QP(65%), Total(10%), EM(10%), MILNED(7.5%), 丸紅(7.5%)	LNG:960万トン/年	3月	受取配当金
LNG	カタールガス3	*QP(68.5%), Conoco Phillips(30%), 三井物産(1.5%)	LNG:780万トン/年	3月	受取配当金
LNG	オマーン	*MOG(51%), Shell(30%), 三井物産(2.77%), 他	LNG:710万トン/年	NA	受取配当金
LNG	赤道ギニア	*Marathon(60%), Sonagas(25%), 三井物産(8.5%), 丸紅(6.5%)	LNG:370万トン/年	NA	受取配当金
LNG	サハリンII	*Gazprom(50%+1株), Shell(27.5%-1株), 三井物産(12.5%), 三菱商事(10%)	LNG:960万トン/年	12月	受取配当金
LNG	North West Shelf (NWS)	*Woodside, MIMI [三井物産/三菱商事=50:50], Shell, BP, BHP, Chevron(各16.7%)	LNG:1,690万トン/年 LPG:46万トン/年 原油/コンデンレート:97千BD	12月	持分法損益
LNG	タンクー	*BP(40.2%), MI Berau[三菱商事/INPEX=56:44](16.3%), KG Berau [JOGMEC/三井物産/三菱商事/INPEX/JX=49.2:20.1:16.5:14.2](8.6%), KG Wiriagar[三井物産](1.4%), 他	LNG:760万トン/年 原油/コンデンレート:6千BD	12月	持分法損益/ 売上総利益
LNG	キャメロン	*Semptra(50.2%), 三井物産, Total, [三菱商事/NYK](各16.6%)	LNG:1,200万トン/年	12月	持分法損益
E&P	MOECO/タイ沖	*Chevron, *PTTEP, MOECO(17.2%)	ガス/原油/コンデンレート:454千BD	3月	売上総利益/持分法損益/ 受取配当金
E&P	MEPME/Block9	*Occidental(50%), OCEP(45%), MEPME(5%)	NA	12月	売上総利益
E&P	MEPME/Block27	*Occidental(65%), MEPME(35%)	NA	12月	売上総利益
E&P	MEPME/Block3&4	*CCED(50%), Tethys(30%), MEPME(20%)	NA	12月	売上総利益
E&P	MEPUK/Alba	*Ithaca Energy(23.4%), MEPUK(13.3%), 他	原油:10千BD	12月	売上総利益
E&P	MEPIT/Tempa Rossa	*Total(50%), Shell(25%), MEPIT(25%)	NA	12月	売上総利益
E&P	MEPAU/Greater Enfield	*Woodside(60%), MEPAU(40%)	NA	12月	売上総利益
E&P	MEPAU/Kipper	*EM(32.5%), BHP(32.5%), MEPAU(35%)	NA	12月	売上総利益
E&P	MEPAU&AWE/Casino, Henry, Netherby	*Cooper(50%), AWE(25%), MEPAU(25%)	ガス/コンデンレート:6千BD	12月	売上総利益
E&P	MEPAU/Meridian	*WestSide(51%), MEPAU(49%)	ガス:7千BD	12月	売上総利益
E&P	MOEX North America/Kaikias	*Shell(80%), MOEX NA(20%)	NA	12月	売上総利益
E&P	MEPTX/Eagle Ford	*Mesquite(25%), Blackstone(25%), KNOC(25%), Venado(12.5%), MEPTX(12.5%)	ガス/コンデンレート/NGL:113千BD	12月	売上総利益
E&P	MEPUSA/Marcellus	*Chesapeake(32.5%), ALTA(32.5%), Equinor(15.5%), MEPUSA(12%), 他	ガス:375千BD	12月	売上総利益

発電事業ポートフォリオ

当社持分発電容量（ネット）：**11.0GW**
（グロス容量：40GW）

2020年9月末現在



評価性/特殊要因明細

(単位：億円)

20/3期	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
金属資源					
Moatize・Nacala減損			▲ 177		▲ 177
その他					0
合計	0	0	▲ 177	0	▲ 177
エネルギー					
MEPMOZ/繰延税金資産計上	132				132
MEPTX/Eagle Ford減損				▲ 180	▲ 180
MEPAU/Greater Enfield減損				▲ 138	▲ 138
MEPIT/Tempa Rossa減損				▲ 125	▲ 125
MOECO/Kaikias減損				▲ 32	▲ 32
その他	10	▲ 2	4	1	13
合計	142	▲ 2	4	▲ 474	▲ 330
機械・インフラ					
Drillship 包括引当金	▲ 9	▲ 1		▲ 2	▲ 12
IPP関連:電力契約時価評価	▲ 2	▲ 3	▲ 7	▲ 3	▲ 15
Moatize・Nacala減損			▲ 44		▲ 44
海外鉄道減損				▲ 37	▲ 37
その他	▲ 1	2	▲ 6	▲ 30	▲ 35
合計	▲ 12	▲ 2	▲ 57	▲ 72	▲ 143
化学品					
その他	▲ 17	▲ 4	65	22	66
合計	▲ 17	▲ 4	65	22	66
鉄鋼製品					
その他				▲ 1	▲ 1
合計	0	0	0	▲ 1	▲ 1
生活産業					
Accountable減損			▲ 56	▲ 8	▲ 64
XINGU固定資産減損				▲ 93	▲ 93
その他	1	▲ 8	▲ 10	▲ 5	▲ 22
合計	1	▲ 8	▲ 66	▲ 106	▲ 179
次世代・機能推進					
その他	▲ 9	▲ 11	▲ 10	▲ 34	▲ 64
合計	▲ 9	▲ 11	▲ 10	▲ 34	▲ 64

21/3期	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
金属資源					
Moatize減損	▲ 41	▲ 156			▲ 197
その他		▲ 17			▲ 17
合計	▲ 41	▲ 173	0	0	▲ 214
エネルギー					
その他	▲ 12	▲ 10			▲ 22
合計	▲ 12	▲ 10	0	0	▲ 22
機械・インフラ					
IPP関連:電力契約時価評価	▲ 4	▲ 7			▲ 11
鉄道車両リース減損		▲ 49			▲ 49
Moatize減損	▲ 10	▲ 39			▲ 49
その他		▲ 5			▲ 5
合計	▲ 14	▲ 100	0	0	▲ 114
化学品					
その他	19	6			25
合計	19	6	0	0	25
鉄鋼製品					
その他		2			2
合計	0	2	0	0	2
生活産業					
IHH印子会社暖簾減損	▲ 25				▲ 25
その他	8				8
合計	▲ 17	0	0	0	▲ 17
次世代・機能推進					
その他					0
合計	0	0	0	0	0



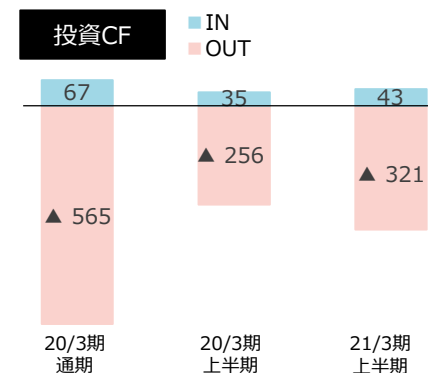
3 セグメント別データ

金属資源

モアティーズ炭鉱事業で減損を計上したものの、鉄鉱石価格の堅調推移を主因に、COCFを上方修正

(単位：億円)

業績	20/3期 上半期	21/3期 上半期	増減	増減理由	21/3期 修正通期予想	進捗率*3	21/3期 事業計画
基礎営業CF	1,198*1	972	▲226	↓豪石炭（販売価格の下落）	2,300	42%	1,600
上半期利益 (評価性・特殊要因)	1,019 (0)	713 (▲214)	▲306 (▲214)		1,200	59%	1,200
売上総利益	1,248	1,006	▲242	↓豪石炭（販売価格の下落）			
持分法損益	327	302	▲25				
受取配当金	50	202	+152	↑Valeからの受取配当金			
販管費	▲162	▲332	▲170	↓モアティーズ炭鉱事業減損			
その他	▲444	▲465	▲21				
総資産	19,219*2	20,966	+1,747				

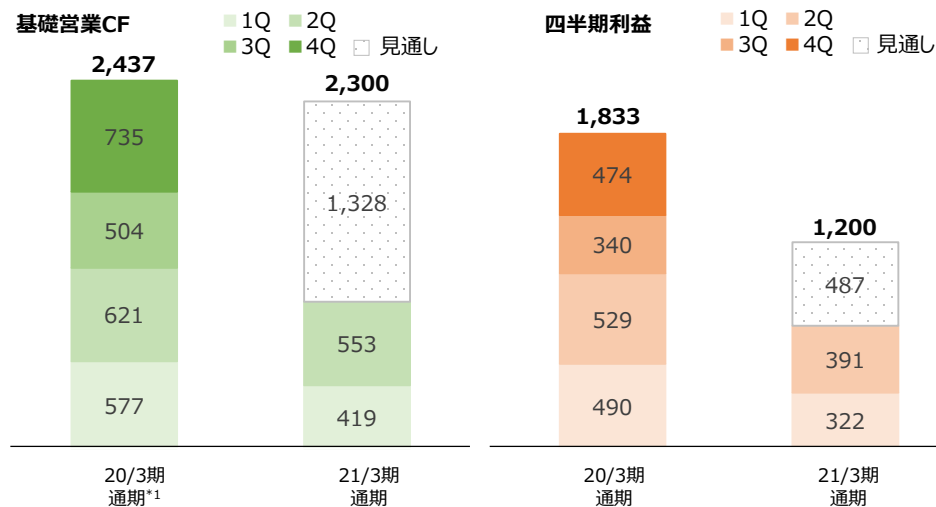


主な投融資/リサイクル案件
(OUT) 豪州鉄鉱石事業▲206

主要関係会社業績

	会社名	20/3期 上半期	21/3期 上半期	増減	20/3期 通期
連結	豪州鉄鉱石事業*4	881	892	+11	1,715
	豪州石炭事業*4	195	▲47	▲242	274
持分法	モザンビーク石炭及び 鉄道・港湾インフラ事業	4	▲267	▲271	▲206
	Oriente Copper Netherlands	▲12	▲16	▲4	▲57
	三井物産カッパーインベストメント	▲4	▲3	+1	▲9
	Japan Collahuasi Resources	32	52	+20	89
	オールドス電力冶金	27	26	▲1	59

四半期推移



*1. リース負債の返済による支出額を減算した金額に修正済み

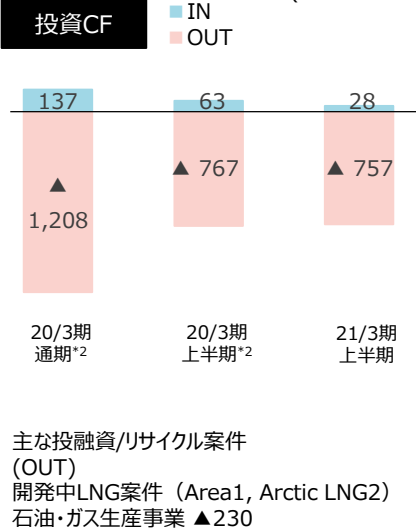
*2. 20/3末 *3. 修正通期予想に対する進捗率 *4. 一部損益は持分法により取込

エネルギー

原油・ガス価格の計画対比改善を主因に、COCFを上方修正

(単位：億円)

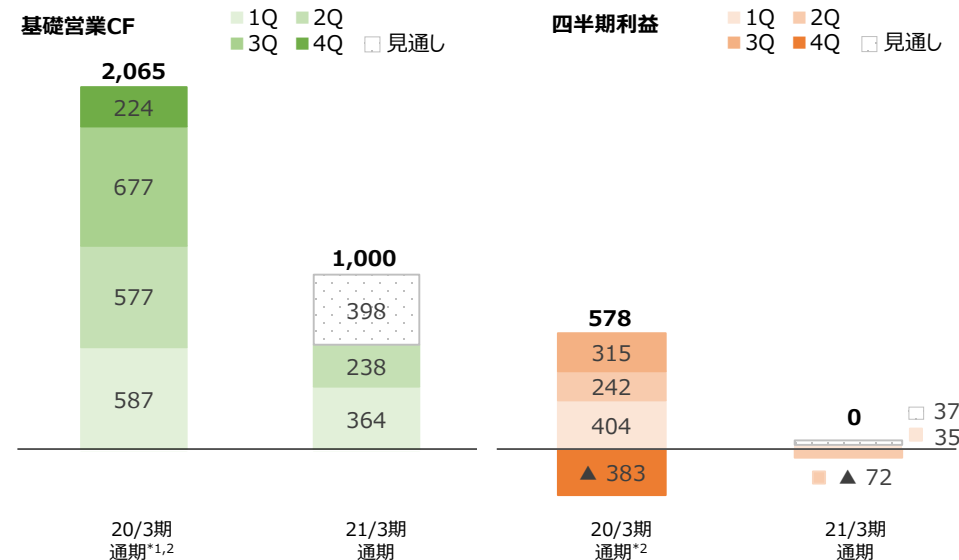
業績	20/3期 上半期	21/3期 上半期	増減	増減理由	21/3期 修正通期予想	進捗率*4	21/3期 事業計画
基礎営業CF	1,164 ^{*1,2}	602	▲562	↓LNG6案件からの配当減、原油・ガス価格下落	1,000	60%	900
上半期利益 (評価性・特殊要因)	646 ^{*2} (140)	▲37 (▲22)	▲683 (▲162)		0	-	0
売上総利益	752	333	▲419	↓原油・ガス価格下落 ↓LNGトレーディング不調			
持分法損益	258	110	▲148	↓(前期)MEPMOZ繰延税金資産計上			
受取配当金	259	43	▲216	↓LNG6案件からの配当減			
販管費	▲231	▲235	▲4				
その他	▲392	▲288	+104				
総資産	25,663 ^{*3}	23,163	▲2,500				



主要関係会社業績

	会社名	20/3期 上半期	21/3期 上半期	増減	20/3期 通期
連結	三井石油開発*5	150	19	▲131	220
	Mitsui E&P Australia	▲13	▲28	▲15	▲142
	AWE	▲24	▲9	+15	▲45
	Mitsui E&P USA	38	▲1	▲39	50
	MEP Texas Holdings	21	▲9	▲30	▲177
	Mitsui & Co. Energy Trading Singapore	54	71	+17	72
持分法	Mitsui E&P Mozambique Area 1	113	▲3	▲116	112
	Japan Australia LNG (MIMI)*6	-	-	-	-
	Japan Arctic LNG	▲15	▲14	+1	41

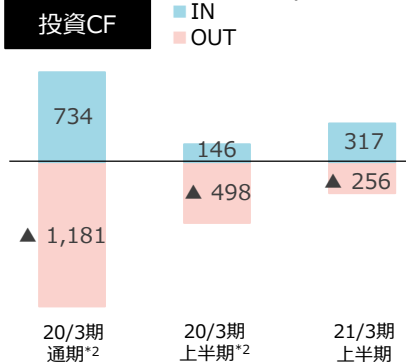
四半期推移



機械・インフラ

(単位：億円)

業績	20/3期 上半期	21/3期 上半期	増減	増減理由	21/3期 修正通期予想	進捗率*4	21/3期 事業計画
基礎営業CF	378 ^{*1,2}	263	▲115	↓持分法関連会社からの配当減	600	44%	600
上半期利益 (評価性・特殊要因)	370 ^{*2} (▲14)	234 (▲114)	▲136 (▲100)		350	67%	350
売上総利益	638	483	▲155				
持分法損益	470	418	▲52	↓(前期)伯ガス配給事業の仲裁決着に伴う支払サービス税回収 ↓伯ガス配給事業で新型コロナウイルスの影響による需要減及び伯リアル安進行			
受取配当金	30	22	▲8				
販管費	▲637	▲613	+24				
その他	▲131	▲76	+55	↑北米発電事業で売却益計上 ↓鉄道車輛リース事業会社における減損			
総資産	23,603 ^{*3}	21,756	▲1,847				

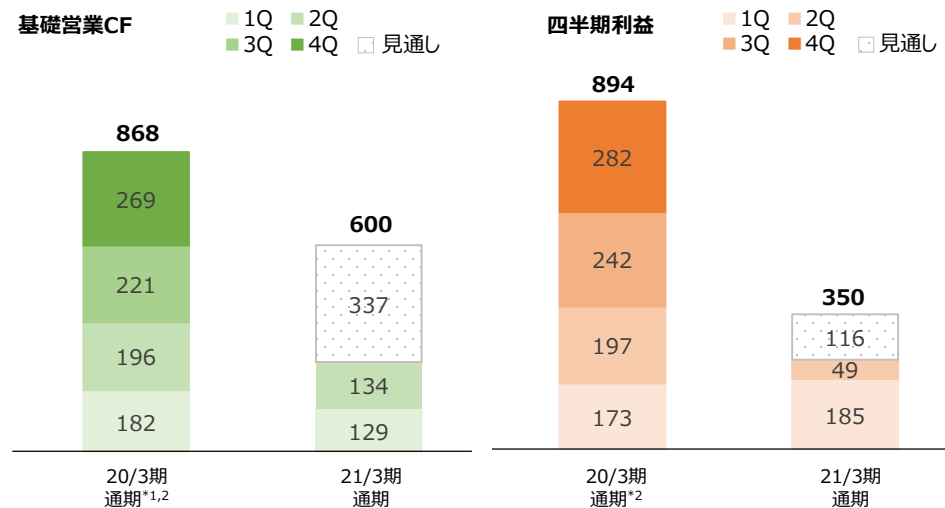


主な投融資/リサイクル案件
(IN) 北米発電事業の売却

主要関係会社業績

	会社名	20/3期 上半期	21/3期 上半期	増減	20/3期 通期
連結	三井物産プラントシステム	6	5	▲1	36
	鉄道車輛リース事業会社*5	11	▲49	▲60	28
	産機・建機関連事業*5	17	24	+7	60
持分法	IPP事業関連会社	143	128	▲15	276
	FPSO/FSOリース事業関連会社	17	42	+25	39
	ガス配給事業	61	19	▲42	113
	Penske Automotive Group	38	17	▲21	77
	トラックリース・レンタル事業会社	39	22	▲17	90
	アジア自動車（製造・卸売）関連事業	33	9	▲24	72
	VLI	▲4	▲4	0	▲10

四半期推移



*1. リース負債の返済による支出額を減算した金額に修正済み *2. 20/4機構改組に伴う組み換え反映後

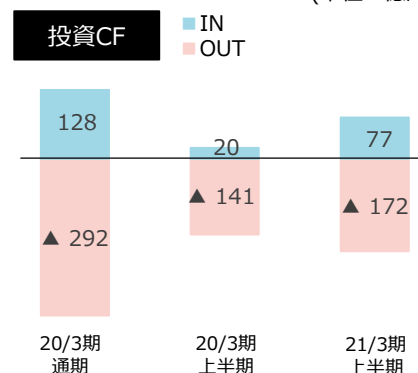
*3. 20/3末 *4. 修正通期予想に対する進捗率 *5. 一部損益は持分法により取込

化学品

トレーディング事業堅調により、PATを上方修正

(単位：億円)

業績	20/3期 上半期	21/3期 上半期	増減	増減理由	21/3期 修正通期予想	進捗率*3	21/3期 事業計画
基礎営業CF	133 ^{*1}	227	+94	↑海外関係会社における一過性損益	450	50%	450
上半期利益 (評価性・特殊要因)	47 (▲21)	107 (25)	+60 (+46)		250	43%	200
売上総利益	610	585	▲25				
持分法損益	68	26	▲42				
受取配当金	16	13	▲3				
販管費	▲522	▲477	+45				
その他	▲125	▲40	+85	↑北米の事業での保険金収入			
総資産	12,177 ^{*2}	11,997	▲180				

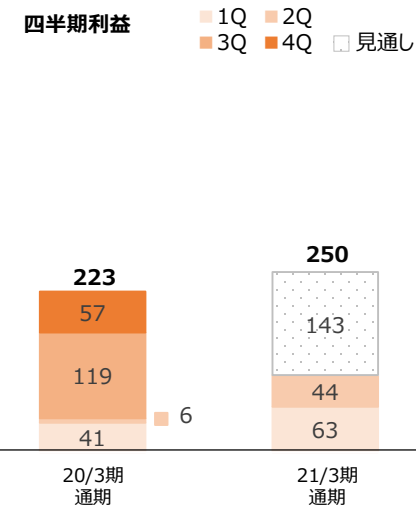
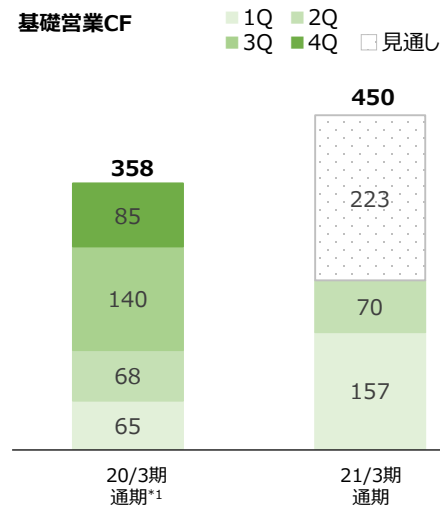


主な投融資/リサイクル案件
—

主要関係会社業績

	会社名	20/3期 上半期	21/3期 上半期	増減	20/3期 通期
連結	MMTX	25	3	▲22	16
	三井物産プラスチック	18	14	▲4	34
	Novus International	▲21	▲13	+8	▲22
	Mitsui AgriScience(欧米)	13	25	+12	24
持分法	日本アレアビメタノール	10	1	▲9	13

四半期推移



*1. リース負債の返済による支出額を減算した金額に修正済み

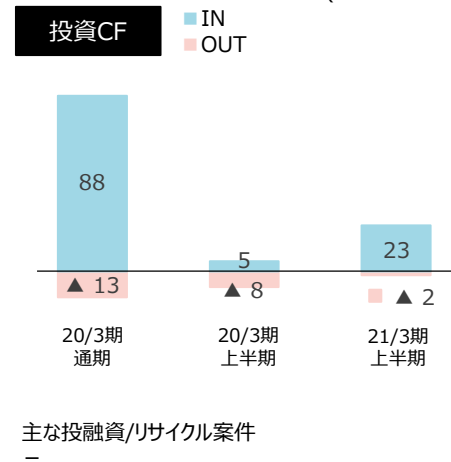
*2. 20/3末 *3. 修正通期予想に対する進捗率

鉄鋼製品

自動車向け鋼材需要減・操業率低下により、PATを下方修正

(単位：億円)

業績	20/3期 上半期	21/3期 上半期	増減	増減理由	21/3期 修正通期予想	進捗率*3	21/3期 事業計画
基礎営業CF	▲4*1	▲5	▲1		0	0%	0
上半期利益 (評価性・特殊要因)	27 (0)	▲58 (2)	▲85 (+2)		▲50	-	50
売上総利益	126	96	▲30				
持分法損益	65	▲45	▲110	↓自動車向け鋼材需要減			
受取配当金	11	8	▲3				
販管費	▲136	▲116	+20				
その他	▲39	▲1	+38				
総資産	5,396*2	5,151	▲245				



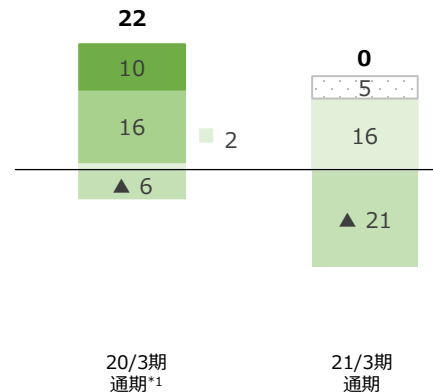
主要関係会社業績

	会社名	20/3期 上半期	21/3期 上半期	増減	20/3期 通期
連結	三井物産スチール*4	21	17	▲4	38
持分法	日鉄物産*5	24	-	-	45
	Game Changer Holdings	7	2	▲5	14
	Gestamp事業会社	14	▲73	▲87	24

四半期推移

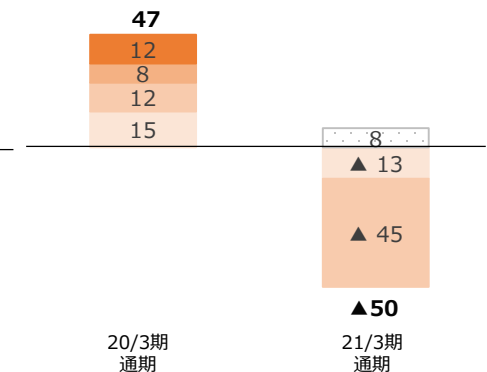
基礎営業CF

1Q 2Q
3Q 4Q □ 見通し



四半期利益

1Q 2Q
3Q 4Q □ 見通し



*1. リース負債の返済による支出額を減算した金額に修正済み

*2. 20/3末 *3. 修正通期予想に対する進捗率

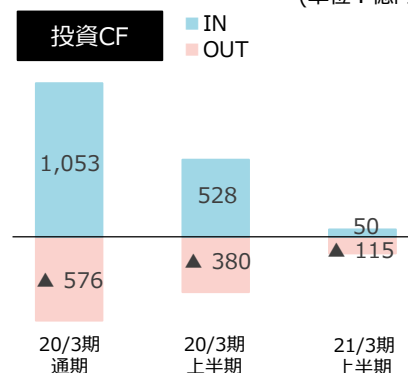
*4. 一部損益は持分法により取込 *5. 上場会社の決算発表前により業績非開示

生活産業

食品・ファッション関連関係会社における外食・購買需要減により、COCF・PATを下方修正

(単位：億円)

業績	20/3期 上半期	21/3期 上半期	増減	増減理由	21/3期 修正通期予想	進捗率*3	21/3期 事業計画
基礎営業CF	23*1	13	▲10		50	26%	150
上半期利益 (評価性・特殊要因)	169 (▲7)	▲119 (▲17)	▲288 (▲10)		▲100	-	50
売上総利益	672	587	▲85	↓ファッション、食品及び流通関連の子会社において減益			
持分法損益	103	▲31	▲134	↓食品、ファッション、サービス事業関連の関連会社において減益 ↓IHH稼働率低下・印子会社の暖簾減損			
受取配当金	24	25	+1				
販管費	▲730	▲656	+74				
その他	100	▲44	▲144	↓(前期)リクルート株式の一部売却による法人所得税の負担減			
総資産	19,076*2	18,897	▲179				

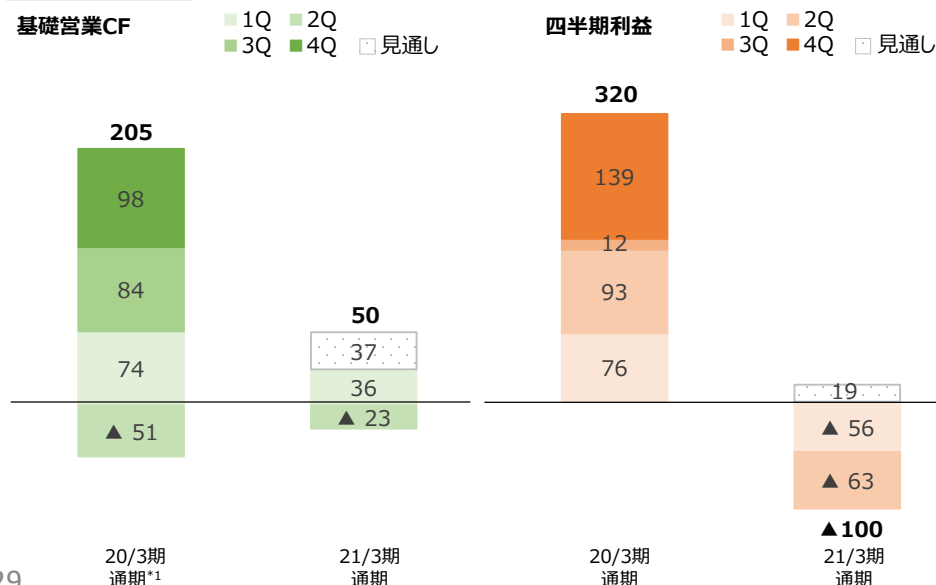


主な投融資/リサイクル案件

主要関係会社業績

	会社名	20/3期 上半期	21/3期 上半期	増減	20/3期 通期
連結	国内流通関連事業会社	18	11	▲7	44
	ファッション事業	▲3	▲31	▲28	24
持分法	三井製糖*4	7	-	-	12
	WILSEY FOODS	22	5	▲17	39
	IHH Healthcare	16	▲36	▲52	49
	PHCホールディングス*4	-	-	-	-
	エームサービス	15	▲1	▲16	24
	Mit-Salmon Chile	0	▲22	▲22	▲2

四半期推移



*1. リース負債の返済による支出額を減算した金額に修正済み

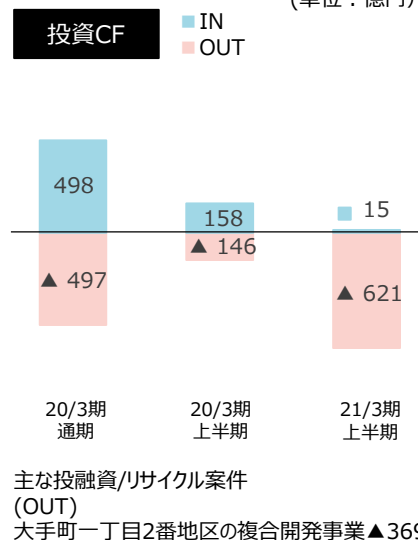
*2. 20/3末 *3. 修正通期予想に対する進捗率 *4. 上場会社の決算発表前又は、守秘義務契約により業績非開示

次世代・機能推進

FVTPL益及びコモディティ取引好調により、COCF・PATを上方修正

(単位：億円)

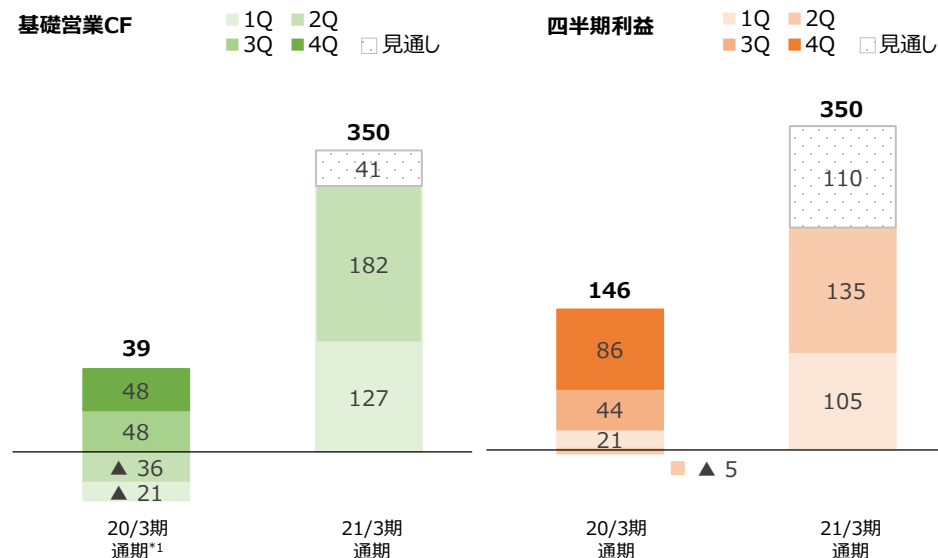
業績	20/3期 上半期	21/3期 上半期	増減	増減理由	21/3期 修正通期予想	進捗率*3	21/3期 事業計画
基礎営業CF	▲57*1	309	+366	↑(前期)FVTPL損 ↑FVTPL益	350	88%	150
上半期利益 (評価性・特殊要因)	16 (▲20)	240 (0)	+224 (+20)		350	69%	150
売上総利益	234	575	+341	↑(前期)FVTPL損 ↑FVTPL益、コモディティ取引好調			
持分法損益	71	40	▲31				
受取配当金	26	31	+5				
販管費	▲323	▲321	+2				
その他	8	▲85	▲93	↓(前期)デリバティブ評価益			
総資産	11,983*2	11,444	▲539				



主要関係会社業績

	会社名	20/3期 上半期	21/3期 上半期	増減	20/3期 通期
連結	三井情報	17	20	+3	42
	三井物産グローバルロジスティクス	20	14	▲6	29
	Mitsui Bussan Commodities	4	33	+29	20
	三井物産アセットマネジメント・ホールディングス	13	11	▲2	19
	三井物産都市開発	7	10	+3	15
	海外不動産事業	21	▲11	▲32	46
持分法	QVC ジャパン*4	-	-	-	54
	JA三井リース	15	▲2	▲17	39
	SABRE INVESTMENTS*4	-	-	-	-

四半期推移



*1. リース負債の返済による支出額を減算した金額に修正済み

*2. 20/3末 *3. 修正通期予想に対する進捗率 *4. 守秘義務契約により業績非開示

三井物産インベスターデイ2020

開催日時：2020年11月10日（火）
13:30開始、16:15頃終了予定

Web上でのLive配信を予定しております。 <https://www.mitsui.com/jp/ja/ir/meeting/investorday/2020/index.html>

時間	プログラム	登壇者
13:30-14:15	開会のご挨拶、中期経営計画レビュー	社長、CFO
14:20-15:20	エネルギーソリューション事業戦略	エネルギーソリューション本部長
	ヘルスケア・ニュートリション事業戦略	ヘルスケア・サービス事業本部長
	DX総合戦略	デジタル総合戦略部長
15:20-15:30	休憩	
15:30-16:15	パネル・ディスカッション テーマ：Corporate Strategyの実践 （事業経営力強化・DX総合戦略）	CSO,経営企画部長,総合力推進部長 CDIO,デジタル総合戦略部長 モデレーター：CSO補佐兼CDIO補佐
16:15	閉会	

※上記予定は状況により変更となる可能性がございますことご了承ください。

360° business innovation.



MITSUI & CO.